

平成26年度 南あわじ市学校業務改善の取組報告

南あわじ市教育委員会

I 委員会組織

- 名称：南あわじ市教職員の勤務時間適正化委員会（年間3回）
- 委員：中学校校長代表（委員長）、小学校校長代表（副委員長）
小学校教頭代表、中学校教頭代表、教職員代表、事務職員代表、
女性教職員代表、学校教育課長、学校教育指導主事
＊新対策プラン推進校より代表8名（第2回のみ）

II 平成26年度の重点目標

- 1 教職員定時退勤日の週1回の設定と完全実施にむけた取組を推進する。
- 2 市内教職員の連絡体制を整える。
- 3 市内各校の校務のIT化を進める。
- 4 各校で「教職員の勤務時間適正化検討委員会」の設置し、教職員の意識を高める。
- 5 学校ルールブックを作成する。
- 6 外部人材の活用を勧める。
- 8 「ノー残業デー」「ノー部活デー」を周知する。

III 今年度の成果と課題

- 市教委で提案している「月2回は必ず完全定時退勤日」にいう取組は進んできた。
- 南あわじ市広報の9月号に、『学校も「ノー残業デー」実施中！』という記事を掲載し、市民に対しての周知を図った。（6月の市議会でも議題として取り上げられ、教育部長が答弁するなど、教職員の勤務適正化については多くの市民に周知されたのではないかな。）
- 職員会議終了後、すぐに「あんしんネット」に行事予定を載せている。その行事予定の中に、「ノー残業デー」も入っている。（委員の在籍する学校）
- 校務のフォルダ階層について検討し、マニュアルを作成している。（委員の在籍する学校）
- 会議の効率化が進んできた。（平成26年度推進校）
- 記録簿の一斉記入を行っている。（平成26年度推進校）
- 毎週1日の完全定時退勤にはまだ壁がある。全校のアンケート結果では、5月よりも10月の方が若干結果が悪くなっている。
- 安定的に定時退勤できる学校と、そうでない学校との二極化が進んでいるように思える。
- 学校ルールブック作成を勧めているが、1学期からは増えていない。
- 校務フォルダの統一については、市教委の提案した文書分類表ではできない。小中の内容も大きく違うので、小中版のフォルダの検討が必要である。
- 勤務適正化に対する教職員の意識改革がなかなか進まない。

IV 今年度後半の取組について

- ① 「ノー残業デー」「ノー部活デー」については、今後も継続的に保護者への周知を行っていく。
- ② 今年度中に各校でのルールブックの作成・改訂を進めていく。
- ③ ワークライフバランスの観点から、教職員の意識改革を各校で進めていく。